

沖縄県MICE開催実態調査は、「沖縄MICE振興戦略」に基づく具体的施策の効果を検証し、今後の改善に向けた基礎資料とするため、本県のMICE開催実態を把握することを目的に毎年実施しております。令和4年度は、郵便または電子メールにて調査対象となる施設に調査票を送付し、回収した調査票を基に重複と思われる催事を統合してMICE開催件数を集計しました。

～ MICE基礎知識 ～

■MICEとは

MICEとは、**M**eeting(会議)、**I**ncentive Travel(報奨旅行)、**C**onvention(学会・大会)、**E**xhibition(展示会)/**E**vent(イベント)の頭文字を取って組み合わせた造語で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。
MICEは、企業・産業活動や研究・学会活動等と関連している場合が多く、一般的な観光に比べ消費額が大きいのが特徴です。また、MICE開催を通じて国際・国内相互の人や情報が集まり、ビジネスネットワークが構築できることから、MICE開催地では新しいビジネスの創出、研究環境や技術等の向上に繋がることが期待されます。

M Meeting(企業・団体会議)

企業・団体会議は、主に企業が「ビジネスの促進」や「アイデアの共有」等を目的として開催する「会議」「研修」「式典」「セミナー」等の催事、いわゆるコーポレートミーティングをいいます。
あえて日常とは違う環境に集まることで、新しいアイデアが生まれ、充実した議論が展開されることが期待されます。



I Incentive Travel(報奨・研修旅行)

報奨・研修旅行は、主に企業が、従業員やその代理店等の「過去の実績に対する報奨の提供」や、さらなるビジネス成長へ向けた「研修」等の目的で実施する旅行をいいます。
通常の観光要素だけでなく、表彰式やレクリエーションを取り込むことで、参加者の結束力を高めることができます。



C Convention(学会・大会)

学会・大会は、公共機関等が主催する公益性の高いテーマを討議する国内・国際会議、大会等、または学術団体等が主催する学術的、技術的な議論・研究発表を目的とした学術会議、研究会・報告会等を指します。
会議だけでなく、観光や地域交流などのプログラムが組み込まれることも少なくありません。



E Exhibition(展示会)/Event(イベント)

展示会・見本市・商談会は、国や地域を越えた「モノ」「サービス」「情報」の売買や商談を目的として開催する、商品やサービス等の展示・宣伝・デモンストレーションを行う催事をいい、地域の産業発展に繋がる効果が期待されます。
また、イベントは、商品やサービスの販売促進、プロモーションの手段等として開催する催事をいいます。



■ 調査概要

【調査対象期間】

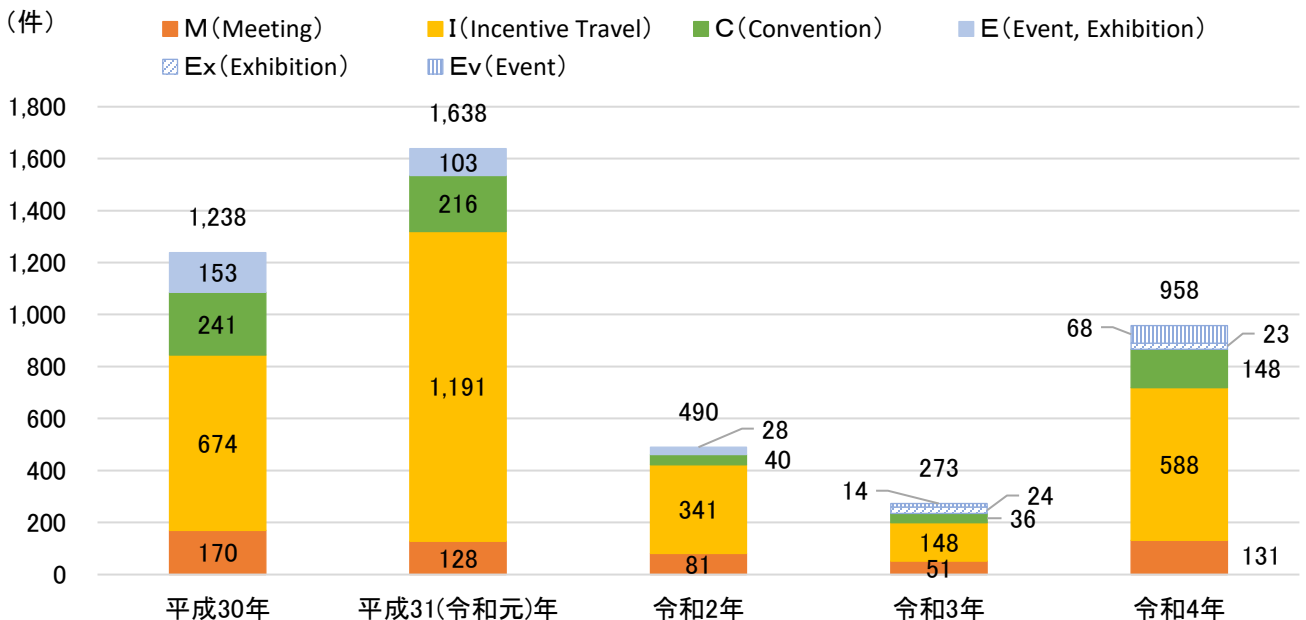
令和4年1月1日から令和4年12月31日までに沖縄県内で開催されたMICE催事

【調査対象施設等(510社)】

- ・ 会議施設
- ・ 宿泊施設（主に宿泊人数150人以上の宿泊施設）
- ・ 県内大学
- ・ 団体受入を実施している観光施設等
- ・ その他、MICE受入実績を有する旅行会社・PCO・施設・団体等

■ 沖縄県で開催されたMICE開催件数の推移[平成30年～令和4年]

	平成30年	平成31 (令和元)年	令和2年	令和3年	令和4年			
	件数	件数	件数	件数	件数		増減数	前年比
M(Meeting)	170	128	81	51	131	(14%)	80	257%
I(Incentive Travel)	674	1,191	341	148	588	(61%)	440	397%
C(Convention)	241	216	40	36	148	(15%)	112	411%
E(Exhibition, Event)	153	103	28	38	91	(9%)	53	239%
Ex(Exhibition)	-	-	-	14	23	(2%)	9	164%
Ev(Event)	-	-	-	24	68	(7%)	44	283%
合計	1,238	1,638	490	273	958	100%	685	351%

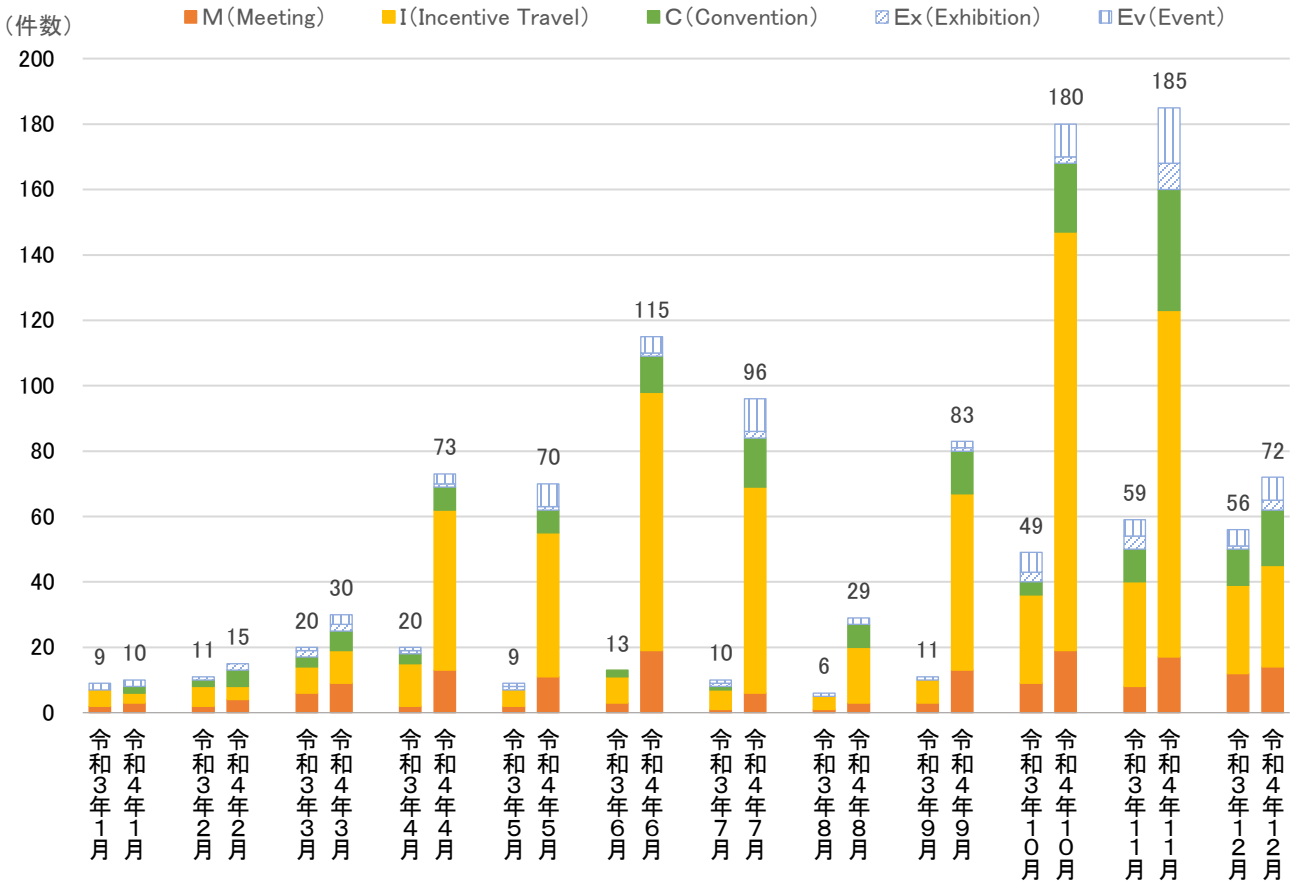


沖縄県におけるMICE開催件数は平成31(令和元)年まで年々増加傾向にありましたが、令和2年及び令和3年においては大幅な減少が確認されました。これは、新型コロナウイルス感染症流行拡大に伴う集会開催の自粛や開催規模の制限、海外から日本への外国人新規入国制限措置等による人流の減少が大きく影響したものと考えられます。

全体の催事別(M/I/C/E)の構成は、過去の傾向と同様「Incentive Travel」の割合が大きく、588件で構成比(61%)となっています。続いて「Convention」が148件(15%)、「Meeting」が131件(14%)となっています。

■ 月別開催件数[令和4年]

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
M (Meeting)	件数	3	4	9	13	11	19	6	3	13	19	17	14
	(%)	2%	3%	7%	10%	8%	15%	5%	2%	10%	15%	13%	11%
I (Incentive Travel)	件数	3	4	10	49	44	79	63	17	54	128	106	31
	(%)	1%	1%	2%	8%	7%	13%	11%	3%	9%	22%	18%	5%
C (Convention)	件数	2	5	6	7	7	11	15	7	13	21	37	17
	(%)	1%	3%	4%	5%	5%	7%	10%	5%	9%	14%	25%	11%
Ex (Exhibition)	件数	0	2	2	1	1	1	2	0	1	2	8	3
	(%)	0%	9%	9%	4%	4%	4%	9%	0%	4%	9%	35%	13%
Ev (Event)	件数	2	0	3	3	7	5	10	2	2	10	17	7
	(%)	3%	0%	4%	4%	10%	7%	15%	3%	3%	15%	25%	10%
合計	件数	10	15	30	73	70	115	96	29	83	180	185	72
	(%)	1%	2%	3%	8%	7%	12%	10%	3%	9%	19%	19%	8%

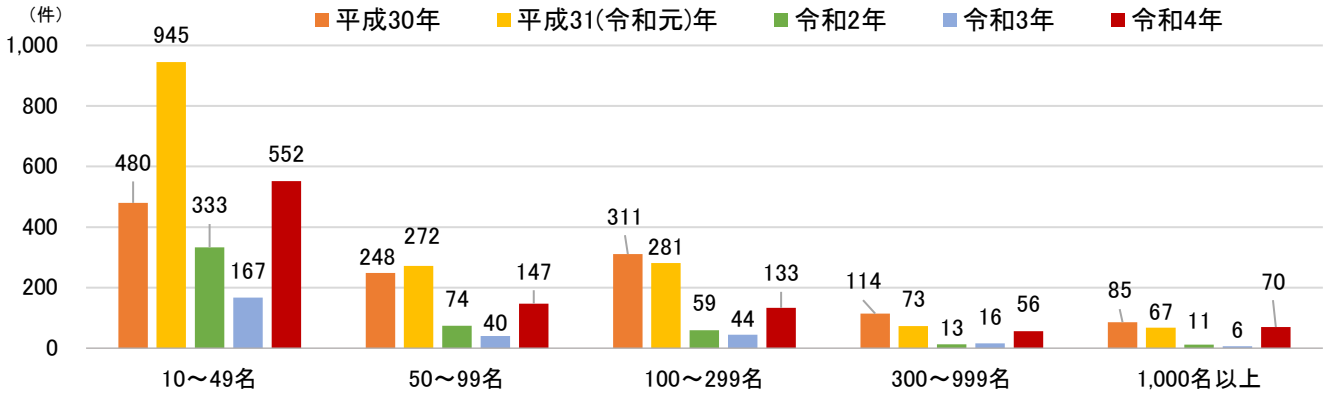


月別開催件数を見ると、11月（185件）、10月（180件）、6月（115件）の順で開催件数が多くなっています。同月は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の平成31（令和元）年や平成30年も同様に開催件数が多い月であり、徐々にコロナ禍以前の状況に戻りつつあるといえます。

また、1月の開催件数が最も少なかったのは、同月内に「まん延防止等重点措置」が適用されたことが要因のひとつであると考えられます。

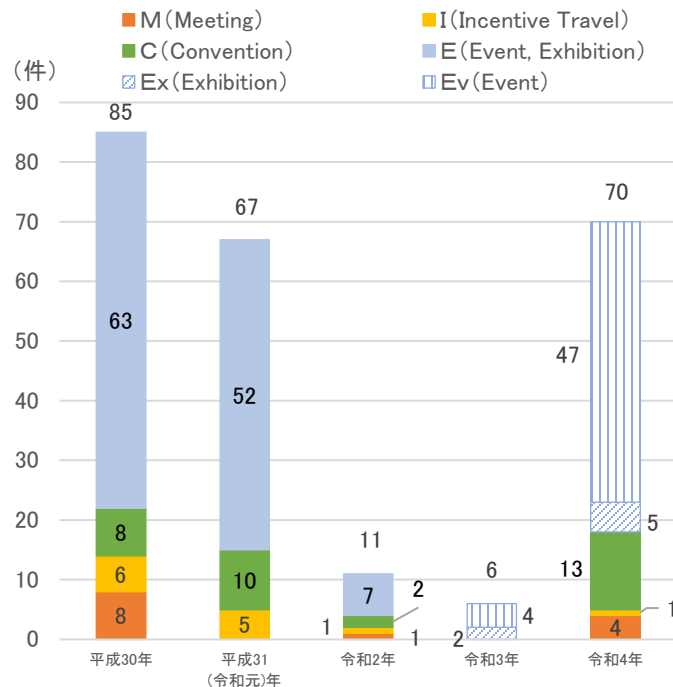
■ 規模別開催件数の推移[平成30年～令和4年]

開催規模	平成30年 件数	平成31 (令和元年)年	令和2年	令和3年	令和4年		
					件数	増減数	前年比
10～49人	480	945	333	167	552	385	331%
50～99人	248	272	74	40	147	107	368%
100～299人	311	281	59	44	133	89	302%
300～999人	114	73	13	16	56	40	350%
1,000人以上	85	67	11	6	70	64	1,167%
合計	1,238	1,638	490	273	958	685	351%



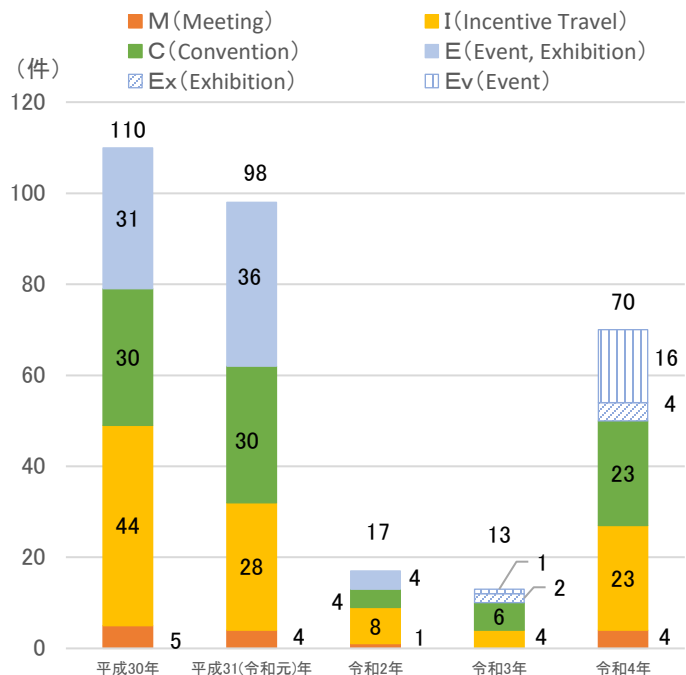
規模別にみると、「10～49人」の催事件数が最も多くなっていますが（552件）、「1,000人以上」の催事は前年に比べ64件増（前年比1,167%）と大規模催事の増加率が最も大きくなっています。

■ 参加者数1,000人以上の催事開催件数 (平成30年～令和4年)



参加者数1,000人以上の大規模催事は、前年から64件増加して70件（前年比1,167%）となっており、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の平成31（令和元年）を上回る開催件数となりました。

■ 海外・県外参加者300人以上の催事開催件数 (平成30年～令和4年)



海外及び県外参加者が合計300人以上の催事は、令和3年から57件増加して70件（前年比538%）となっています。なお、令和3年は政府による外国人新規入国制限に伴う沖縄発着の海外航空路線等の運休により、海外からの参加があった催事は0件でした。

■ 市町村別開催件数[令和4年]

市町村名	開催件数 合計	M (Meeting)	I (Incentive Travel)	C (Convention)	Ex (Exhibition)	Ev (Event)
1 那覇市	229	66	64	57	12	30
2 恩納村	184	8	140	35	1	0
3 名護市	153	6	129	14	0	4
4 石垣市	73	1	69	2	0	1
5 宮古島市	69	9	54	4	1	1
6 糸満市	68	10	57	1	0	0
7 宜野湾市	57	10	18	16	8	5
8 沖縄市	28	3	11	5	0	9
9 豊見城市	23	4	15	2	0	2
10 北谷町	18	1	14	1	0	2
11 南城市	15	5	5	0	0	5
12 浦添市	12	5	3	0	1	3
13 西原町	12	1	0	8	0	3
14 本部町	9	0	9	0	0	0
15 久米島町	3	1	0	2	0	0
16 読谷村	1	1	0	0	0	0
17 うるま市	1	0	0	0	0	1
18 中城村	1	0	0	0	0	1
19 大宜味村	1	0	0	0	0	1
20 宜野座村	1	0	0	1	0	0
合計	958	131	588	148	23	68

■ エリア別開催件数[令和4年]

エリア区分	開催件数 合計	M (Meeting)	I (Incentive Travel)	C (Convention)	Ex (Exhibition)	Ev (Event)
本島北部	348	14	278	50	1	5
本島中部	88	17	35	17	9	10
本島東海岸	57	9	16	13	0	19
本島南部	323	81	136	62	12	32
宮古・八重山	142	10	123	6	1	2
計	958	131	588	148	23	68

市町村別開催件数は、那覇市が229件と最多で、次いで恩納村の184件、名護市の153件となっています。エリア別開催件数は、本島北部が348件と最多で、次いで本島南部が323件となっています。これは、市町村別開催件数で上位となっている那覇市と恩納村、名護市がそれぞれ含まれていることに起因していると考えられます。

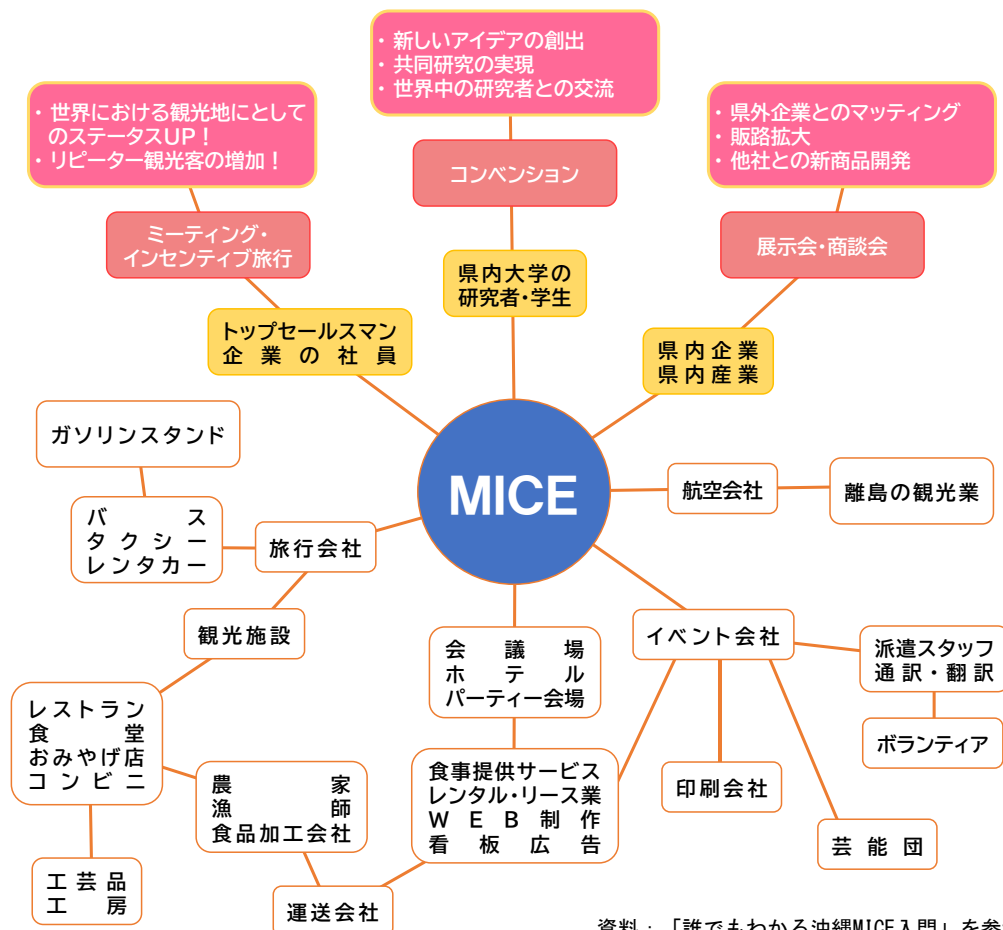
那覇市は、「Incentive Travel」を除いた4つの催事分類において件数が最多です。恩納村、名護市は「Incentive Travel」が開催件数の7割以上、石垣市は開催件数の95%が「Incentive Travel」となっています。市町村別実績では、例年「Incentive Travel」の開催実績が多い市町村が上位を占める傾向がありますが、本年も同様の傾向でした。

■MICEを開催する意義・効果

沖縄でのMICE開催により、①観光分野を中心とした幅広い業界への経済効果、②産業の競争力強化、③地域・住民へもたらされる効果などが期待されます。

①観光分野を中心とした幅広い業界への経済効果

MICEを通じた新たなビジネス客の獲得により、観光の平準化、観光の質的向上が図れるほか、MICEの多くは数年前に開催地が決定されることから、将来の収益が担保され、経営の安定化に寄与します。



資料：「誰でもわかる沖縄MICE入門」を参考に事務局で作成

②産業の競争力強化

MICE参加者との交流によって、ビジネスチャンスの獲得、新たなビジネスの創出等による産業の高度化が期待できるほか、国際商談会等のMICE開催を通じ、ビジネス交流拠点としてのブランド向上に繋がります。

③地域・住民へもたらされる効果

その他、海外参加者との交流を通じた異文化理解の促進による地域のグローバル化、最先端の技術・知見に触れる機会の創出や市民向けイベント開催による教育機会の確保等、開催地域や住民にも様々な効果がもたらされます。

令和4年度「沖縄県MICE開催実態調査」報告書、および過去年度の報告書につきましては、下記ウェブサイトからダウンロードいただけます。ご希望の方は下記ウェブサイトをご利用ください。

[沖縄県 文化観光スポーツ部MICE推進課 ウェブサイト]

<https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/mice/index.html>

【お問い合わせ先】

沖縄県 文化観光スポーツ部MICE推進課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 行政棟8階（南側）

TEL：098-866-2077 FAX：098-866-2264

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー MICE推進課

〒901-0152 沖縄県那覇市字小祿1831-1 沖縄産業支援センター2階

TEL：098-859-6130 FAX：098-859-6221

